

普連土学園校友会報

平成27年7月15日
第 94 号

普連土学園校友会発行
東京都港区三田4-14-16 郵便番号 108-0073
責任者 富山 恵子

電話 03-3451-7700
FAX 03-3451-1959
E-mail: f-koyukai@dance.ocn.ne.jp



菊地 勝子 90歳
(大津光男理事蔵)

菊地勝子さんを偲び

三つつの思い出

普連土学園理事長 畠中ルイザ

目次
総会 ホームカミングの先生より
校長室だより
関西校より
入学式
新入生紹介

校友会会長、学校の理事、評議員として長年奉仕をしてくださった菊地勝子さんを失い、普連土学園の皆さんにとっても寂しいことになりました。菊地さんの静かな支えに甘えながらここまでなんとか来られた私が、いま勝子さんの思い出で胸がいつぱいです。

その中から3つを選んでここに残したいと思います。

◇30数年前のある5月の日◇
熱い日差しの下、ルバーブ畑の下で菊地さんと並んでしゃがみ、その

大きな葉っぱの下にある世界を二人で楽しんでいました。葉陰の中、豆の大きさがぐらいの蛙たち何十匹がルバーブの真つ赤な茎から茎へびよんびよんしています。蛙たちは鮮やかな黄緑色です。30年経った今でも心の中にその赤と緑は少しも褪せていません。菊地さんの茶目の笑みとともに。

◇20数年前のある3月の日◇
茨城の骨までしみる寒さに驚きながら、東京から来た私と娘たちは急いで病院にやつと到着しました。倒れた主人がいる部屋に行こうとしていたところへ、突然菊地さんがお家からの毛布を腕いっぱい抱え現れました。「これからあなたたちは大変ですので、使ってください」と。今でもその毛布の温かさを鮮明に覚えていています。菊地さんのとても心配そうなお顔と一緒に。

◇毎年の11月のバザーの日◇
学校の玄関の前で、大勢の卒業生やお客さんと一緒ににぎやかにお喋りしている時、菊地さんはいつも受付に座り、皆さんお一人一人をとても嬉しそうにお迎えしています。お体が弱り、弓田のお家に引っ込み、バザーに出て来られなくなった後でも、私には勝子さんのお姿は受付にずっと見えていました。今年もきつとお見えになると思います。

東京月会で行われた追悼礼拝に出席なさった沢山の方々は、菊地さんを偲びながら様々な面白い話をしてくださいました。お話の中、菊地さんについてこの言葉が何回も繰り返されました。「信仰深い人」、「お料理上手な人」、「ご自分の話をしない人」、「心配りをする人」、「優しい人」、「人を大切にされる人」。

ある時期、菊地さんはお家に織機を置いて布を織っておられました。考えれば、菊地さんは布を織っているように、いつも私たちみんなを繋げよう（編み込もう）となさり、私たちをしつかりしたものにしようと思えず働きかけてくださいました。感謝で胸いつぱいです。

2015年度

校友会総会

5月30日
(土) 11時～2時30分
● 稲造
新渡戸ホール(旧講堂)
● 出 席 者 名
ロースホール ● 151名

2015年度の校友会総会は5月30日(土)に母校を会場にして開催されました。真夏のような暑さでしたが151名の出席がありました。

第一部 総会司会副会長渋谷美智子

奏楽 酒井 恵生

礼拝 司会 会長 富山 恵子

讃美歌 234A番 500番

聖書「マタイによる福音書」

10章12・13・16節

学校報告 校長 浜野 能男

▼145名の新入生を迎え、4クラスとなった▼中1は学園について、

中2は自分の住んでいる所について

ネットを使わず調べる▼志願者数の

減少、本校の受験を勧めてほしい▼

年3回の校友生の礼拝の話は生徒に

感銘を与えている▼学園のホーム

ページ内に校友会のホームページを

設けた▼ホームカミングデーを催し

た

事務会議事 司会副会長寺山由美子

2014年度年次報告

副会長 渋谷美智子

総会 5月31日 138名出席

講演会 6月21日 参加80名

講師 大津光男先生「紙芝居と写真などで見るFGS史」

・バザー 11月8日後援会と共催

校友生の当日手伝い157名

・演奏会 11月29日

「JAZZによる讃美歌」

JAZZピアニスト小坂直輝氏90名

・クリスマス礼拝 90名

「ヨセフと夢」北川正弥氏

・ホームカミング2月28日

学園と共催。95・100・105

回生 参加96名 先生23名

・勉強会 3月14日

「信じる事から始まる教育」

講師 太田信雄先生 59名

・出版「会報」92号・93号発行

・お祝い贈呈

4月 新入生に校章入りタオル

9月 敬老祝いに絵葉書セット

3月 卒業生(122回生)に小

袂紗

2014年度会計・特別会計決算報告

会計 川島弥生子

(別表参照) 右は承認された

2014年度監査報告

辻あき江監事より会計監査報告

2015年度年次計画

副会長 渋谷美智子

総会 5月30日(土)

新渡戸稲造ホール、ロースホール

・バザー 11月14日(土)後援会と共催

・130周年記念コンサート

11月21日(土) 13時30分

新渡戸稲造ホール

「オペラユニット・レジェンド」

コンサート

・クリスマス礼拝12月12日(土)11時

A音楽室 親睦会12時

・ホームカミング 2月開催予定

・出版「会報」94号2015年7月

95号2016年2月発行予定

4月 新入生に校章入りタオル

9月 敬老祝いに絵葉書セット

3月 卒業生に小袂紗

2015年度会計予算案

会計 川島弥生子

(別表参照) 右は承認された

会則改正 会長 富山 恵子

「改正前」第11条 運営費 会員

は本会を維持のため運営費として

年2000円を納める。ただし社

会情勢により変更することもあ

る。

「改正後」第11条 運営費 会員

は本会を維持のため運営費として

年2500円を納める。ただし社

会情勢により変更することもあ

る。

ホームページの開設について

会長 富山 恵子

母校のホームページ内に校友会の

ホームページを設けた。

役員改選 指名委員長 村上多價子

任期満了の役員の選考の結果

〈新任〉副会長 山本礼子 70回

書記 鈴木典子 98回

吉田さやか100回

〈再任〉会長 富山恵子 73回

会計 川島弥生子100回

監事 辻あき江 72回

この件は承認された。

指名委員の交代承認

会長 富山 恵子

〈再任〉

千田孝子 53回

島田恵子 70回

村上多價子70回

宮戸和子 71回

麦倉道子 75回

〈退任〉

委員会委員紹介

130周年記念関連の紹介

会長 富山 恵子

同好会紹介 会長 富山 恵子

ミニコンサート

マリンバコンサート

鈴木あさみさん(72回生)のマ

リンバ演奏を楽しんだ。

普通士学園校友会2014年度収支決算書

(2014年4月1日～2015年3月31日)

●収入の部		(単位：円)	
科目	予算金額	決算金額	備考
会費	4,560,000	4,555,000	高校生校友会費 379名+7,000円
運営費	4,200,000	4,302,000	校友生納入分(2151口)
バザー収益	1,300,000	1,529,834	
事業委員会収益	0	75,600	
奉仕活動協力金	250,000	277,464	幹事会時献金、クリスマス献金
雑収入	10,000	82,700	タオル・コピー・タックシール代 他
受取利息	500	619	預金利息
収入計	10,320,500	10,823,017	
●支出の部			
科目	予算金額	決算金額	備考
総会費	300,000	275,056	謝礼、お花代 他
諸会費	100,000	53,743	幹事会お茶菓子代 他
人件費	1,400,000	1,206,500	事務手当 他
委員会活動費	645,000	501,614	事業・出版・バザー
通信費	2,000,000	1,823,283	会報92号-93号、幹事会、総会連絡費 他
印刷費	700,000	613,376	会報92号-93号、総会案内 他
消耗品費	800,000	843,219	事務用品、コピー・複写機代及び保守代、薬品 他
光熱水費	360,000	360,000	
文通費	450,000	352,771	
電話料	300,000	272,818	電話、FAX通信料
郵便費	500,000	840,098	入学祝、卒業祝、敬老祝、お悔み花カード 他
支部連絡費	40,000	40,000	関西支部
クリスマス礼拝	130,000	82,304	お花代、親睦会費用 他
奉仕活動費	200,000	275,000	女性の家ヘルプ、CFL、クリスマス礼拝時献金
同好会補助費	170,000	170,000	コーラス部、聖書の会
雑費	20,000	6,440	振込手数料 他
基本金積立	1,000,000	1,000,000	
特別積立	1,000,000	1,000,000	
奨学金積立	0	0	
予備費	205,500	0	
支出計	10,320,500	9,316,222	
差引額(収入-支出)	0	1,506,795	
前年度繰越金	1,577,320	1,577,320	
次年度繰越金	0	3,084,115	

会計監査の結果、適正であることをご報告いたします。

2015年4月14日

監事 辻あき江 印
監事 熊澤勢子 印

普通士学園校友会2015年度予算書

(2015年4月1日～2016年3月31日)

●収入の部		(単位：円)	
科目	予算金額	備考	
在校生会費収入	4,560,000	高校生校友会費	
卒業生運営費収入	4,200,000	校友生納入分(2100口)	
バザー収益	1,300,000		
事業委員会収益	500,000		
奉仕活動協力金	200,000	幹事会時献金・クリスマス献金 等	
雑収入	10,000	タオル・コピー・タックシール代 他	
受取利息	500	預金利息	
前年度繰越金	3,084,115		
合計	13,854,615		
●支出の部			
科目	予算金額	備考	
総会費	300,000	謝礼、お花代 他	
諸会費	100,000	幹事会お茶菓子代 他	
人件費	1,400,000	事務手当 他	
委員会活動費	650,000	事業・出版・バザー委員会	
ホームカミング	100,000		
通信費	2,100,000	会報94号-95号、幹事会、総会連絡費 他	
印刷費	700,000	会報94号-95号、総会案内 他	
消耗品費	800,000	事務用品、コピー・複写機代及び保守代 他	
光熱水費	360,000		
文通費	450,000		
電話料	300,000	電話、FAX通信料	
郵便費	700,000	入学祝、卒業祝、敬老祝、お悔み花カード 他	
支部連絡費	40,000	関西支部	
クリスマス礼拝	130,000	お花代、親睦会費用	
奉仕活動費	200,000	女性の家ヘルプ、CFL	
同好会補助費	120,000	コーラス部、聖書の会	
雑費	20,000	振込手数料 他	
基本金積立	1,000,000		
特別積立	2,000,000		
奨学金積立	0		
予備費	300,000		
前年度繰越金	2,084,615		
合計	13,854,615		

2014年度特別会計収支決算書

(2014年4月1日～2015年3月31日)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
●基本金積立(校友会積立金)			
前年度繰越金	12,349,991		
経常費より	1,000,000		
利息	1,951	次年度繰越金	13,351,942
合計	13,351,942	合計	13,351,942
●特別積立(学園への寄付金積立)			
前年度繰越金	6,773,333		
経常費より	1,000,000		
利息	1,078	次年度繰越金	7,774,411
合計	7,774,411	合計	7,774,411
●奨学金積立			
前年度繰越金	10,010,744		
返済	940,000	次年度繰越金	10,950,744
合計	10,950,744	合計	10,950,744
●名簿積立			
前年度繰越金	1,781,826		
利息	284	次年度繰越金	1,782,110
合計	1,782,110	合計	1,782,110
●校友会への寄付金(校友生等からの寄付金口座)			
前年度繰越金	4,297,043		
寄付	97,868		
利息	690	次年度繰越金	4,395,601
合計	4,395,601	合計	4,395,601

2015年度特別会計予算書

(2015年4月1日～2016年3月31日)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
●基本金積立(校友会積立金)			
前年度繰越金	13,351,942		
経常費より	1,000,000		
利息	1,500	次年度繰越金	14,353,442
合計	14,353,442	合計	14,353,442
●特別積立(学園への寄付金積立)			
前年度繰越金	7,774,411		
経常費より	2,000,000		
利息	1,000	次年度繰越金	9,775,411
合計	9,775,411	合計	9,775,411
●奨学金積立			
前年度繰越金	10,950,744		
奨学金返済	400,000	次年度繰越金	11,350,744
合計	11,350,744	合計	11,350,744
●名簿積立			
前年度繰越金	1,782,110	名簿管理ソフト移行費	100,000
利息	300	次年度繰越金	1,882,410
合計	1,782,410	合計	1,782,410
●寄付金(校友生等からの寄付金口座)			
前年度繰越金	4,395,601		
寄付	50,000		
利息	600	次年度繰越金	4,446,201
合計	4,446,201	合計	4,446,201

95 100 105 回生

合同ホームカミング

2015年2月28日



「ホームカミングの趣旨」

◇100回生 秋草 美奈子

最近、先生方から繰り返し聞くフレーズがある。卒業生が学校ともう一度繋がり、卒業後の体験や経験を学園に還元してくれたらどんなに助かるだろう。私に何が出来るかという不安より、40歳という節目に何かしなければという使命感の方が強かったように思う。既に多くの卒業生は礼拝のお話などで学園に貢献をしている。少し目線を変え、多くの卒業生を一緒に学園に呼び戻す方法として思いついたのが「ホームカミング」だった。当日の様子は神田さんの記事をお読み頂きたいが、私は実行できて本当に良かったと思っています



いる。そして、普通土にはなんと多

様性に富み魅力的な人が多いことかノ会を成功できたのは、個性豊かな人生を謳歌した卒業生が各々の才能を出し合い結束できたからだ。企画や会計のプロから司会、ピアノ、美術担当までなんと才能豊かな面々。会の終了後、校友会の大先輩が「いい親孝行が出来て良かったね」と声を掛けてくださった。ホームカミングを普通土の新たな伝統として思っている。一緒に学校に帰ろう。趣旨に賛同してくれる卒業生、ぜひ参画をお待ちする。

(F@Shomecoming@yahoo.co.jp)

「学園に集って」

◇95回生 神田 史緒

母校という響きに、郷愁を感じるようになって、どれ位になるでしょうか。

2月28日、95・100・105回と3期にわたる、100人を超える校友生・恩師たちが集った、普通土学園初の「HOME COMING DAY」。「すべて人間が持つ内なる光、種が輝けるように」という学園の信念が、どれほど私たちの人生の価値観を形成する基盤となっているかを、実感する一日となりました。

懐かしい学友たちの顔が並ぶ集会

室で始まった、太田信雄先生による

礼拝、浜野能男学園長の挨拶に続き、ローズ・ホールでの昼食会。「食前感謝の歌」の歌詞が自然と口から出てくることに、感動すら覚えました。「大人授業」と題するコーナーでは、浜野先生による「語源で楽しむ英語」と伊藤文枝先生による「ハレルヤ・コーラス」練習があり、東の間の学生気分も楽しみました。

普通土学園で過ごした日々：在学中は、その質素さと堅実さを時代遅れだと不満に思うことすらありましたが、私たち生徒は、太陽が燦々と照る温室の中で大事に育てられる草花のようでした。

改めて、普通土学園で学んだことに感謝をし、同窓生の私たちが未来への世代にバトンを渡すお手伝いできればと感じたと感じた「HOME COMING DAY」になりました。



「懐かしい English の先生をたずねて…」

以前普連士学園におられた English の先生は、
いまどこで何をなさっているのでしょうか？

今回 Jenifer Newbold 先生から
普連士学園での思い出とともにメッセージをいただきました。



最近の Jenifer Newbold 先生

From the streets of Tokyo to the forest paths, my life has changed a lot since I moved. My husband, Nick, and I are currently teaching at a primary school on an Aboriginal reserve in Ontario, Canada. We live five minutes from the school, which is on an island in the forest. The nearest grocery store is forty-five minutes away by car. It is very quiet here and the wildlife is amazing. I usually see bears, deer, eagles, rabbits, and other kinds of wild animals in the area. However, it is often minus thirty degrees Celsius in the winter so we can't go out for long. At night, you can see the Milky Way. It is very interesting living here as Aboriginal people have a different culture than other Canadians. I have danced at a pow wow, learned traditional games, and watched a deer being butchered. My school is quite small; there are only 42 students and I teach fifteen of them. My classroom is for students between six and nine years old. I am having fun teaching science, art, and math, as well as English. There are many problems in my community that stem from the racism in Canada towards Aboriginal people so my students need special kinds of help. It is hard work but I am doing my best.

I have so many happy memories of Friends School. I laugh to think of how crazy the English classes were sometimes. I remember throwing on hats and wigs and ties to perform a seven person play by myself. And I recall how kind students were about my terrible singing and drawing. Students always had interesting stories to tell, or jokes to share, or insights to give, even when they had to struggle to find the words. In the quiet moments it seemed like Friends School was a cozy blanket I could wrap around myself. Idyllic scenes are etched in my memory, like walking under the vines as students blew bubbles from the balconies and someone played Country Roads on the recorder. Or seeing the students gather to admire a heart shaped cloud. Or walking down the steps during the October twilight and seeing, in the warm lights of all the buildings, silhouetted students laughing and chatting about the upcoming festival. Part of my heart will always live at Friends School.

I can say without hesitation that I know you are all out there making the world a better place whether it be in your homes, your communities, or through your work. I am honoured to have known you all and I wish you the very best. I hope to meet up with you again.

(2003 ~ 2011 年在職、カナダ出身)

校長室だより



浜野能男

校友会の皆様には、日頃学園へ多大なご支援を頂き、誠にありがとうございます。例年のバザーは、教職員がなつかしい校友生と再会できる大切な機会となっております。校友会のご紹介による全校礼拝は、それぞれが普通土学園で学ぶことの意味、また将来の生き方を考える上で大きな参考となっております。また、昨年度初めて校友会と学園の共催で実施されたホームカミングデイでは、95回、100回、105回の多くの卒業生、また旧職員が集いました。礼拝、旧職員からのメッセージ、授業、校友生の活動紹介、今後の学園への協力等多多彩なプログラムで、実現に尽力いただいた校友生への感謝と共に、その組織力、企画・運営能力の高さに驚嘆する思いでした。

今年度学園のホームページのリニューアルを行い、そこで校友生向けのページを設置致しました。校友会のご協力により、校友会、あるいは学園による、皆様にお出でいただける行事の情報も、より迅速に、具体的にお伝えすることが可能となりました。また、学園の行事、その他の内容も更新を続けておりますので、どうかホームページをご覧くださいませよう御願ひ申し上げます。

校友生の皆様のご活躍の様子を何う度にも、これまで学園で培ってきた「二人一人を「神の種」を持った尊い存在と信じること。」「人への奉仕の精神」「誠実に責任を果たすことの大切さ」といった学園の教育の根本が、皆様の中に生き生きと息づいていることを感じ、また次代の社会を担う今の生徒にそれを根付かせることの重要性を認識させられます。この学園の教育理念の継承には、校友生の皆様のご協力が不可欠です。今後ともご支援のほど宜しく御願ひ申し上げます。

春の関西フレンド会

78 回生 長瀬 智子

5年に亘り会長を務めて下さっていた圓城恭子さん(52回生)の急逝により、昨年の関西フレンド会は故人を偲び開催されませんでした。今年度は竹田和子さん(73回生)を新会長として迎え、4月に花香る京都の丸山公園にて同窓生と再会出来ました。当日はあいにくの雨模様でしたが、本部から富山会長と渋谷副会長の出席を得て、計13人が明治を代表する建物である長楽館で、和やかなひと時を持つことが出来ました。富山会長の挨拶と学校の近況報告の後、フレンドの校章をアレンジしたペンダントの紹介の頃には、皆が遠かにしえの母校に懐かしい思いを馳せている様に見えました。体調を崩し急きよ欠席の方も何名がおられ、とても残念でしたが、20、30代のお若い方々の出席が嬉しく、時代が移り変わっても諸先輩方の思いを引き継ぎ、関西フレンド会がいつまでも絶えることなく親交が深められることを願うばかりです。



永年会を支え、毎年出席して下さっている京都の野村英子さん(41回生)が数えて白寿を迎えられたこともトピックスの一つでした。歩まれた人生に数多くのご苦労のあったことを聞いていますが、凛としたお姿は私達に「生きる」ことの素晴らしい手本を示して下さいます。白寿を共に喜びたいと、来年は野村さん宅近くのレストランで桜を愛でながら集う計画をしています。より多くの方々の参加を出逢いの中で、普通土卒業生としての新たな感謝と誇りを、それぞれの胸の内熱くして欲しいと願っています。

普連士たより 学校近況

百六十五信

花曇りの4月7日、中学入学式が行われました。今年度は例年に比べて入学者が多く、128回生は、1学年4クラス、145名でスタートすることとなりました。

浜野校長は新入生に今後の生活で大切にしてほしいこととして「なすべき仕事や勉強に誠実に取り組み努力すること。争い、闘いが起きぬようにすること。色々な人の考え方を信じていることを尊重すること。物を浪費せず簡素な生活を送ること。人への奉仕を大切にすること」を訴えました。そしてその根本となるのは、フレンド派の人々が「内なる光」や「神の種子」という言葉で表現する「自分自身も、他の人も、全ての人は人間である限り皆尊厳存在であり、素晴らしい存在であり、正しい道を進み、成長していけるものだ」という考えにあると語りかけました。

5月14、15日には、中学2年生が天城に遠足に行き、友人について話し合うことを通して親睦を深め、同日高校3年生は、清里の清泉寮で「女性の生き方」をテーマにディスカッションをし、最後の宿泊行事となる修養会を終えました。

◎今年度の教職員の異動

【新任】

☆常勤講師 理科 佐藤益也子
☆非常勤講師 数学科 高野 継大

技術家庭科 澤田 篤努
英語科 島津 朋子

☆嘱託 カウンセラー 桑本佳代子
聖書科 才間 郁

堤亜美

【退職】

☆専任教諭 福井美津子(社会科)

三宅 詩織(理科)

☆常勤講師 難波 夏代(英語科)

御法川智子(英語科)

☆非常勤講師 西川 友紀(数学科)

松木 杏実(数学科)

佐野 寛子(理科)

内田 麻ゆ(社会科)

吉田翔太郎(技術家庭科)

奥平 幸子(英語科)

落 真理(英語科)

黒金 玲子(英語科)

川崎 朋美(養護)

☆嘱託 カウンセラー 安松 輝子

(大井 治先生記)

122回生

校友会新入会員

新任幹事紹介!

◇卒業後の近況・幹事になって◇
普連士での些細な出来事を思い出しては懐かしむ毎日です。学園と122回生が疎遠にならないよう努めます。

◇校友会総会に初めて参加して◇
参加してみても印象的だったのは、卒業生の方々が今でも普連士の精神を忘れずにいたことです。慈愛や簡素、奉仕の精神がこんなにも6年間の中高時代に身につけていたことにとっても感動いたしました。これからも積極的に参加したいと思います。

◇大学生活にもようやく慣れてきました。恵まれた環境に感謝しながら、色々なことに挑戦していきたいです。

(寺島桃)

◇最近普連士で体験したことを生かして、普連士で出来なかった事に挑戦しています。疲れすぎないように頑張ります。

(張子楠)

◇普連士で得た多くのことが今の私の軸になっています。今後は、普連士に恩返しをしていきたいです。

(春澤香苗)

◇女子高6年間とは違い、自由な時間割で自由に生活し、忙しさと楽しさで充実した毎日を過ごしています。

(福島里佳子)



(上段右から) 福島里佳子さん、張子楠さん、高取美央さん、(下段右から) 河野真由さん、寺島桃さん、春澤香苗さん

校友会だより

このページの内容についてのお問い合わせは、校友会事務局（03-3451-7700）まで。

◆今年のバザーは11月14日です

今年のバザーは後援会との共催で11月14日（土）10時～15時に開かれます。同封のチラシをご覧のうえ、献品等のご協力をお願いいたします。会員の皆様のご参加とご協力をお待ちしています。

◆校友会クリスマス礼拝

日時 12月12日（土）11時～14時
場所 普連土学園A音楽室（礼拝）
講師 船本弘毅氏
東京女子大学元学長

関西学院大学名誉教授

礼拝後生徒ホールでの親睦会では軽食をいただき、讃美歌を歌い、コーラス部のクリスマススカヤロールを聴いてクリスマスを祝います。皆様のご参加をお待ちしております。

申し込みは不要です。

◆普連土学園創立130周年

記念グッズ販売

FGS透かしデザインのパンダントトップ（ゴールド35000円、シルバー8000円）／普連土学園校舎写真入りクリアファイル（価格未定）／制服着用マスケット人形付きキーホルダー（価格未定）／校章

入りハンドタオル（4000円）
バザー・校友会事務局にて販売中です。収益はすべて学校への寄付になります。

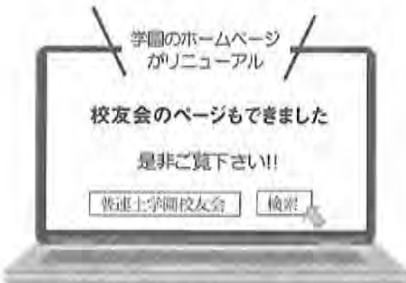
◆普連土学園創立130周年

記念コンサート

「オペラユニット レジエンド」
日時 11月21日（土）
13時開場／13時30分開演
場所 普連土学園
新渡戸稲造ホール

全席自由（前売り4000円、在校生3500円）

詳細は同封チラシにて！



訃報

謹んでお知らせ申し上げます。心より哀悼の意を表します。

- | | | | | |
|------|------------|----------|----------------|----------|
| 39 | 中村千代子（遠藤） | 14 | 52 B 中島美保子（平野） | 14・5・8 |
| 41 | 原 つほ（原） | 14・11・23 | 52 B 津田 京子 | 14・6 |
| 42 | 森 美代（大久保） | 13・9・15 | 52 B 篠 玲子 | 14・10・17 |
| 42 | 海老沢静子 | 14・11・21 | 52 B 山崎 美知（細井） | 14・12 |
| 42 | 宮越 星子（古沢） | 15・3・25 | 52 B 村谷 章子（近藤） | 15・1・22 |
| 44 | 二見恵美子（江中） | 14 | 52 B 米川 郷子（上田） | 15・4・27 |
| 44 | 高橋 静子（武藤） | 14 | 53 石塚寿美子（高橋） | 14・1 |
| 44 | 福田 義子（中村） | 15・2・15 | 55 竹内 光子（鬼平） | 14・8・20 |
| 46 | 山本 哲子（内藤） | 14・8・22 | 55 岩淵摩耶子（中保） | 14・12 |
| 47 | 秋場五十子（佐怒賀） | 14・5・17 | 57 安田 恭子 | 15・4 |
| 47 | 青塚 清子（伊藤） | 14・6・8 | 59 松崎 典（西垣） | 14・9 |
| 48 | 菊地 勝子 | 15・1・15 | 59 渡辺 綾子（渡辺） | 14・11・1 |
| 48 | 酒井 時子（秋元） | 15・2・8 | 60 広海 緑 | 12・5 |
| 48 | 伊藤 福子（田代） | 15・2・15 | 60 小林英子（長谷川） | 14・11 |
| 49 | 木村みゆき（野口） | 14・12・17 | 62 木田 米子（木田） | 15・2・11 |
| 49 | 大橋 芳子 | 14・10 | 64 佐藤 貴子（伊藤） | 14・11・9 |
| 49 | 永松 トヨ（吉田） | 15・1・26 | 66 石川さち子（荒川） | 15・1・9 |
| 49 | 田中 瑠璃 | 15・4・21 | 67 成塚 明子（平野） | 14・12・29 |
| 50 | 中田 トモ（藤田） | 14・8・14 | 88 高橋 律子（高島） | 14・2・7 |
| 50 | 二瓶 公子（尾高） | 14・12・21 | 103 伊藤 綾子 | 14・8・22 |
| 50 | 宮下富美子（坂内） | 15・1・5 | | |
| 51 | 宮澤 照子（大手） | 13・9・16 | | |
| 52 A | 江波戸久江（佐々松） | 14・10・7 | | |
| 52 A | 小林八重子（鈴木） | 15・2・4 | | |
| 52 B | 小尾 玲子（金野） | 12・10・10 | | |
| 52 B | 中村恵以子（千代） | 13・6 | | |

編集後記

今回新しい試みとして英文のまま掲載いたしました、学生時代にもどってお読みいただけましたでしょうか？気候変動の激しいこの頃ですが又暑い夏がやってきます。皆様熱中症に気を付けてお過ごし下さい。

千田・田中・鈴木・森本
川上・今奈良